

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第76号

古牧だより通算170号

戦後70年を迎えて

間もなく終戦を迎えようとしていた昭和20年8月13日、長野市は空襲を受け、文献によると市内で47名の方が犠牲になったそうです。国鉄長野機関区(当時)でも米軍機の銃撃により職員8名と兵隊3名が犠牲となりました。市民の方も犠牲になりました。

西和田にある車両基地の中に、善光寺上人揮毫による慰霊碑があり、慰霊の言葉と犠牲となった8名の名前が刻まれています。



当時は松岡に飛行場がありそこが狙われたり、若槻の国立療養所(現東長野病院)でも被害がありました。また子どもがグラマン(米戦闘機)に機銃掃射され命からがら逃げたなどの証言も残っています。

8月13日や終戦70周年となる15日には、郷里で起こった惨劇について振り返ると共に、家族で平和について考える日にしてみてはいかがでしょうか。

(福原卓 JR 区長)

アトライク! スパー!!

第39回 中学生球技大会 (ボウリング)

7月12日(日)第39回中学生球技大会がヤングファラオで開かれました。古牧地区の中学生71名が参加しました。

始球式は、武重博明住民自治協議会会長、宮島俊文副会長に努めていただき、ゲームがスタート。1人2ゲームと短時間ではありましたが、みなとても楽しそうに盛り上がっていました。



表彰式で、男子で優勝した小宮くんは「非常にうれしいです。」

高い点数がとれて良かったです」と答えてくれました。女子は3年生に混ざりながら1年生の徳武さんが1位獲得、「1位になれて良かったです」とニコニコです。

また来年も多くの中学生に参加していただきたいと思います。

成績発表は以下のとおりです。

男子 1位 小宮 大宗 (3年 川 端)
2位 徳武 輝晟 (3年 五分一)
3位 羽鳥 司 (3年 南長池)

女子 1位 徳武美沙希 (1年 南高田)
2位 小池 綾香 (3年 南高田)
3位 市川 由唯 (3年 南長池)

(青少年育成部)

主な内容

実践!親子で楽しむ大型絵本 子育て支援部研修会 … 2
「ほんわか健康塾“こまき”」を開校します …… 2
明日への架け橋 投票に行きましょう …… 2
戦後70年 戦争体験談 …… 3~4

災害図上訓練 (DIG) の研修会 …… 4
インターネット“画面の向こうは街中(一般社会)”
古牧地区社会を明るくする運動 …… 5
8月~9月の主な行事実施日のお知らせ …… 6
娑婆鉛筆 …… 6

実践！親子で楽しむ大型絵本 子育て支援部研修会

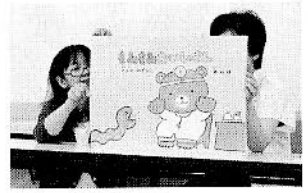
古牧子育て支援部は7月14日（火）、「おはなしネットワーク」で現在活躍中の中澤みどりさんと上田礼美子さんを講師にお招きしました。子どもたちを楽しませる読み聞かせのテクニックや関心を引かせるために有効な「遊び歌」なども教えていただきました。お二人には日頃行っている「読み聞かせ」そのままでお願いしました。



古牧子育て支援部も今年は新部員が増え、福祉健康部で購入していた

だいた大型絵本の使い方に戸惑いもあったなか、明日から実践できる有意義な研修会になりました。

絵本や紙芝居の読み聞かせは、子どもたちの心の発育に大きな力を発揮するばかりでなく、子育て中のお母さんやお年寄りのみなさんにとっても、心の癒しにつながる素晴らしい実践法だということを再確認できました。部員のみなさんも研修会場に持ち寄った大型絵本を自信を持って各地区に持ち帰ることができました。（子育て支援部）



「ほんわか健康塾“こまき”」を開校します

古牧地区では、お年寄りがいつまでもお元気で豊かに暮らしていけるようにとの願いを込めてこの秋10月の開校を目指して「健康塾」の準備に取り組んでいます。「健康塾」のニックネームは、「ほんわか健康塾“こまき”」です。

長野市の総人口に占めるお年寄りの人口比率が年々上昇し要介護、要支援者も増加の一途をたどっています。平成29年度に要支援1および2のみなさんの通所介護、訪問介護サー

ビスが予防給付の対象外となります。これらの事情を踏まえて取り組むことになりました。

「ほんわか健康塾“こまき”」の対象者は少々生活機能の落ちてきたお年寄りの方（要支援・要介護予備軍および要支援1）です。状態を基本チェックリストで把握。要介護にならないように週1回ペースで3カ月コースの健康維持・増進を目的にしたプログラムの実践教室をします。地域包括支援センターニチイケア高田に支援を頂きます。（福祉部会）

問合せ先は、古牧地区住民自治協議会（電話244-8159、259-8359）

明日への架け橋 投票に行きましょう

9月13日（日）は長野市議会議員選挙の投票日です。あなたの一票“大切に棄権をしないように”をお願いします！

投票の際は、入場券を必ず持参してください。投票日に都合の悪い方は、期日前投票をご利用ください。入場券をお持ちでない時は、本人確認のために運転免許証又は保険証等で本人確認をしますので持参してください。

古牧地区は、投票所が3カ所あります。櫻ヶ岡中体育館、古牧小体育館、三陽中体育館

の3カ所です。時間は午前7時から午後8時までです。

古牧地区白バラ会は、長野市選挙管理委員会と協力しながら、選挙の棄権防止等、明るい選挙の推進に努めている団体です。会員74人で選挙があるときに、啓発活動をして頑張っている団体です。平成9年に設立して、長野市32地区ある中で9番目に発足しました。

（古牧地区白バラ会 会長 玉木綾子）

今年は終戦70周年。節目の年です。「古牧誌」には出征者559名、戦死者126名と記されています。長野空襲（上田市から長野市にかけて1945年8月13日の空襲）では市内で47名の方が犠牲になりました。

節目の年を迎え、体験談を随時掲載していきたいと思います。戦争を体験された方、後世に伝え生かしていくためにお話をお聞かせください。
(広報部)

古牧の空が戦場に！

上高田 関川 喜八郎さん
(故人、当時中学生、「古牧誌」より抜粋)

昭和20年8月13日、「最初で最後、たった一度であったが、長野市も空襲を受け、古牧の上空も戦場となった。」

9時過ぎ「ラジオから東部軍管区情報のブザーが鳴り、空襲警報が発令されサイレンが鳴り渡った。私は規則に依って庭先に掘った防空壕にとび込もうとした一瞬だ。縁側から見ると土蔵の上高く、見たこともない銀の小鳥の様なものがピカピカ幾つも光って見える。何だろう？……と思ったのも瞬間……見る間にそれらは軽業師のように急降下を始めた。と同時に『ダダダダッ……』けたたましい銃声である。青い空をバックに飛行機の間からは機関銃の赤い火が見える。私は突然の余りの出来事に凍る思いで防空壕にとび込んだ。庭先の防空壕へとび込むや、敵機はもう耳をつんざく様な爆音を溶せて、防空壕の上をすれすれに飛び去った。敵のパイロットの頭が見えた。」

「まず飛行場が狙われたのである。私は防空壕の中で家族と青ざめて耐えていると『ドカンバリバリバリ……』『ドカンバリバリバリ……』物凄い音がしだす。ロケット爆弾が投下され始めたのであった。と共に防空壕に寄っかかっている私の背中に地響がその都度波の様に伝わってくる。木戸やガラス戸はガタガタとかけるばかりに揺れる。爆弾の炸裂する音、地響、機銃掃射の銃音、飛行機の爆音。風等の振動と音で防空壕も家も潰れてしまうのではないかと思った。地震の恐怖とは全然異質の怖さだった。」

15日に終戦。「古牧は無事だった。私たちは生き伸びられた。ひたすらに平和を祈り続けたいものである。」



長野空襲の一日

松岡 轟 清秀さん
(80歳、長野空襲を語り継ぐ会)

戦況が悪化するとき、大本営を始め国家の中枢機関を東京から地方に移すことになり、松代大本営地下壕の建設が開始されました。当然近くに大型航空機の発着可能な飛行場の確保が必要となり、長野飛行場は1945年1月より陸軍航空本部特設作



轟さんと米機グラマンの空襲きょう

業隊員、朝鮮からの徴用工員、近隣市町村の勤労奉仕によって拡張工事が進み隣接する私の松岡地域は飛行場の中に入ってしまった。

1945年8月13日、早朝より艦載機、グラマンF6F、ポートF4U戦闘機によって長野市は1日5回空襲されました。死者47名です。

家族で朝食をとっていた時、ラジオの「警戒警報」を耳にしたので縁側に出てみると、畑の中を6人ほどの兵隊が村に向かって逃げ

ていくのが見えました。その様子を告げて間もなく飛行機の爆音が聞こえてきました。バリバリ、バリバリと凄いな音がしたので、急いで父が造ってくれた防空壕に逃げ込もうとすると、先ほどの兵隊らしき人が占領していたので、仕方なく作業場の大きな室に飛び込みました。

グラマンからの機銃掃射、葉きょうがカラカラ、カラカラと乾いた不気味な音を立てて屋根瓦を直撃します。3歳と1歳にならない弟は恐怖におののき、暗い室の中で声ひとつ出さずに耐えていました。空襲の時間は20分ほどでしたが、1時間以上に感じました。飛行機がさり母屋に戻ると、爆風によって家中は天井から落ちてきたススで畳が真黒になっ

ていました。

2回目の空襲で、松岡神社の境内に隠してあった戦闘機（「隼」）を狙って投下した爆弾が目標を外れ、隣の桑畑で破裂しました。これにより田中さんの防空壕が押しつぶされ家族6人が生き埋めになりました。警防団員数名が救助にあたりましたが、スコップも使えず全員必死になって素手で土を掘りました。しかし9歳の姉とその姉に背負われた2歳の弟は窒息死。6歳の妹は破片の直撃をうけて即死。他の3人も負傷しました。髪は乱れ顔からは血が流れる無残な姿に、その場の空気は凍りつきました。

国民学校5年生、満10歳の少年の心の奥底に、その1日のことが深く刻まれています。

災害図上訓練 (DIG) の研修会

古牧地区自主防災連絡会は7月26日（日）、古牧公民館でDIG研修会を開き、区長、副区長防災指導員、民生委員等が集まり訓練をしました。DIGとは地図に災害発生を想定して地域の状況を記入し、地域の問題を考える訓練です。

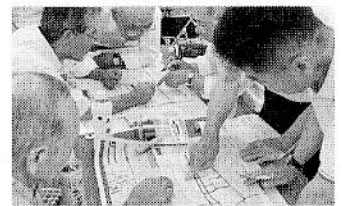


講師を務める県危機管理防災課の松井剛先生の説明を受けながら、8チームに分かれて主要道路

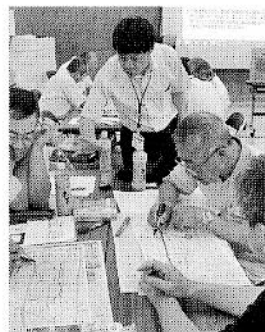
（赤）、地域の道路（黒）、公園・駐車場・空地（緑）、河川（青）を地図に示し、避難場所、日用品調達店舗、災害時役立つ人材の家などを記入。その後危険箇所（塀、老朽家・ビル、大木、水害場所など）を示して、古牧地区防災マップ（平成24年作成）と照らし合わせて確認と、真剣に取り組ま



た。「DIG研修」は初めての方が多数で、防災訓練に役立つ研修であったと思います。



参加した区長からは、「地域の事情を再確認できた」「知らない危険箇所もあり、現場確認したい」「自助、共助、公助を再認識し



たい」などの感想があり、防災マップにない危険箇所を見つけたチームに、講師先生は感心していました。また、古牧地区防災マップを見直す必要性も指摘されました。

防災マップを知らない（50%）、避難場所を知らない（40%）、避難経路を知らない（80%）、持ち出す非常品の準備なし（40%）という統計結果があります。災害時の対応は日頃からの備えが大切で、家庭でも災害時における行動を共有してほしいと思います。

（総務部）



インターネット "画面の向こうは街中 (一般社会)" 古牧地区社会を明るくする運動盛大に

第65回古牧地区社会を明るくする運動が7月25日(土)、古牧公民館に約130名の参加と多数の来賓の方々をお招きし盛大に開かれました。

長野県警察本部サイバー犯罪対策室の西村周二先生が「サイバー犯罪の現状等」と題して講演。映像で説明がありました。家庭・職場内でインターネットが身近な存在として便利に利用されている反面、それを悪用する又は悪用されてしまう大きな危険があります。



- 1) ネットワーク利用で本人が知らないうちに不正アクセスされる
- 2) インターネットショッピングで個人名義の口座を相手に知られ、お金だけ抜き取られてしまう
- 3) インターネットバンキングに係る不正送金

等、身に覚えのない行為により大きなダメージを被ってしまうことが多々起きていると話されました。

日常の中で面白半分で投稿したものが、一瞬にして仲間や更には世界の人々に知れ渡ってしまい被害者、加害者になってしまうという現実もあります。防止策と



(渡辺さん)



して、インターネットでは不正を守ってくれるウイルス対策ソフトを常にアップグレードすること。情報モラルとしては、画面の向こうは街中(一般社会)という認識を持つ事が大切という指導を受けました。

ネット利用に必要な3つの力「判断力」・「自制力」・「責任力」に想像力をプラスして、有効に活用していけば便利この上ないものです。

特に10代の若者たちは、家庭内での親子のルールをしっかり持つ事が大切だと指摘。友だち同士でも「書いちゃうと、つながる絆が切れちゃうよ」の標語にもあるように、1つのメールが加害者、被害者にならないよう改めてインターネットとの向き合い方の大切さを痛感させられる有意義な機会となりました。

作文コンクールでは入選作品、三陽中学校2年の渡辺咲稀さんが「あいさつのあふれる街に」、3年の安藤楓さんが「安心して過ごせる社会」を発表。映画鑑賞「心の家路」では、過去に罪を犯した人を雇用して更正に努



(安藤さん)

めた企業経営者(協力雇用主)の事例紹介があり、仕事・スポーツ等を通じて地域への活動として広めていくことの必要性を訴えていました。

(総務部)

8月～9月の主な行事実施日のお知らせ

多くの皆様の参加をお待ちしています

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
介護者相談会	8月21日(金)	古牧公民館	介護における悩み事を気軽に ご相談ください	ボランティアセンター 244-8159
防火・防犯・交通安全 ポスター審査会	8月22日(土)	古牧公民館	応募作品の審査	防犯部 227-8219
公民館対抗球技大会	8月23日(日)	古牧小・犀川グ ランドほか	地区公民館雄野球・バレー・ 卓球対抗試合及び交流	公民館部 226-5120
古牧地区 自主防災会防災訓練	8月29日(土)	古牧公民館、 各地区公民館	招集及び情報伝達訓練	総務部 243-3545
交通安全街頭啓発運動	9月2日(水)	西尾張部交差点		交通安全部 224-8494
防火・防犯・交通安全 ポスター表彰式	9月6日(日)	古牧公民館	ポスター入選作品の表彰	防犯部 227-8219
みどりの移動市長室	9月9日(水)	古牧児童センター	市長ほかの事業視察、懇談会	事務局 259-8359
ボランティア養成講座	9月15日(火)	古牧公民館		ボランティアセンター 244-8159
男性の料理教室	9月18日(金)	古牧公民館		ボランティアセンター 244-8159
にとはちさま公演	9月27日(日)	古牧小学校体育館	小学生による公演	にとはちさま保存会 241-9124
全戦没者追悼法要	9月27日(日)	西光寺		総務部 243-3545

しゃばえんびつ



暑い パワーを頂く

ただいま夏も本番ですね。今年も暑い夏が続いていますが、皆さま熱中症対策は万全ですか？最近では屋外だけでなく、屋内にいても熱中症になってしまう危険性があるという話をよく耳にします。特に睡眠中、寝汗をかくと水分が奪われてしまうため、熱中症になる危険性が高くなるようです。予防には睡眠前にコップ一杯の水を飲んで、ゆったりとした寝間着で汗を逃がし、熱がこもらないようにして寝るとよいとのこと。

また、屋外では帽子を着用して、こまめに水分を取り木陰で休んで、体調を整えて行動した方がいいそうです。高齢者になると体調管理を思うようにできなく、気付いたときには熱中症になっていることが大変多いといわれます。

屋内でも、エアコンの温度を調節して体調の管理に気を付けて過ごしてください。この夏の暑さを元気で乗りこえましょう。
(7月30日記 小林 忠雄)

お詫びと訂正

第75号「詐欺注意！」の記事（3ページ）に誤りがありました。お詫びとともに、訂正いたします。

(誤) 内山係長 → (正) 田山係長
(誤) 224-0110 → (正) 244-0110



古牧地区の世帯数と人口

27年7月1日現在

11,040 世帯

26,631 人

(男 13,087人 女 13,544人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話・FAX 259-8359)
(HP <http://www.komakichiku.com/>)
- 発行者 武重 博明
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷